TOTO

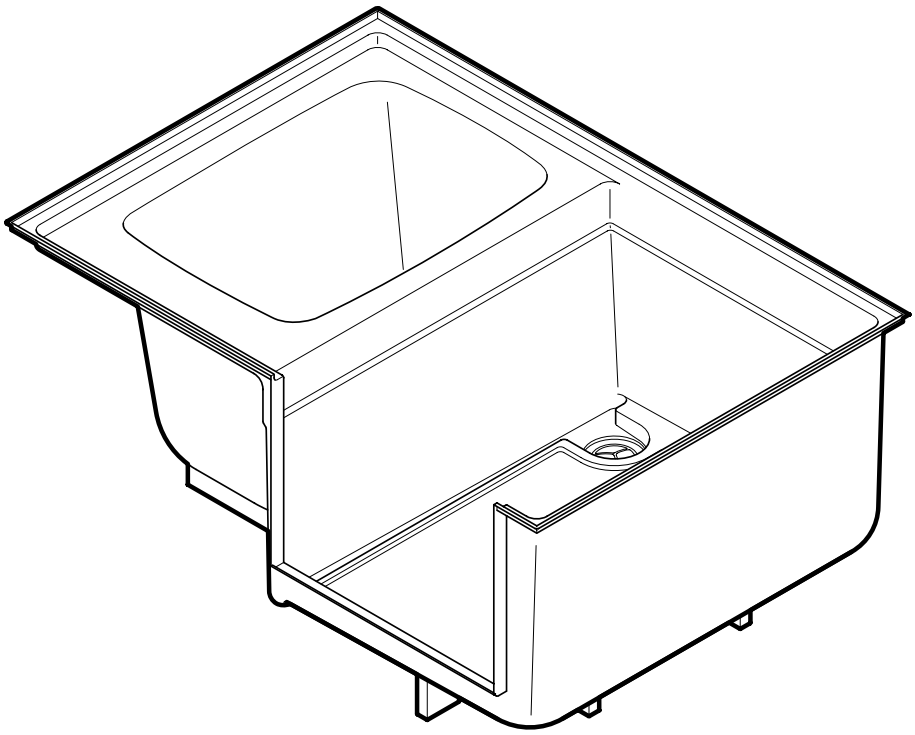
施工説明書

2009.3版

洗い場付き浴槽

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

■ このたびはTOTO洗い場付き浴槽をご採用いただきましてありがとうございました。
■ 製品の機能が十分発揮されるように、この「施工説明書」の内容にそって正しく施工してください。
■ 浴槽据付・各種施工と電気・水道工事は工程を十分に打合わせのうえ行ってください。
■ 工事完了後は、お客様に操作説明を行い、この施工説明書と同封の「取扱説明書（保証書付）」をお渡しください。
なお、「保証書」には必要事項を必ず記入してください。
■ 施工説明書に記載の品番は、改訂する場合がありますので、ご了承ください。



もくじ

1. 安全上の注意 …… 3～5

2. 寸法図 …… 6～13

2-1 一般図 …… 6
2-2 ドア勝手 …… 10
2-3 各部取合 …… 11
（1）トラップ廻り …… 11
（2）ドア枠靴ずり部詳細 …… 11
（3）出入口部詳細（PA20の場合）…… 11
（4）アルミサッシの選定 …… 12
（5）靴ずり部詳細 …… 12
（6）壁との取合い …… 13

3. 施工手順 …… 14～19

3-1 下地づくり・給湯水裏配管取付け工事 …… 14
3-2 洗い場付き浴槽・排水管取付け …… 15・16
3-3 洗い場付き浴槽据付け …… 17
3-4 洗い場付き浴槽・防傷用養生作業 …… 18
3-5 排水管接続作業 …… 18
3-6 浴槽の穴あけ …… 19

4. その他 施工情報 …… 20～21

4-1 シャワー金具取付け（PA30の場合） …… 20
4-2 間仕切り壁の施工例 …… 20
4-3 ドア枠取付けの施工例 …… 20
4-4 壁仕上げの施工例 …… 21

5. 清掃 ……22

●施工者の皆様へ

施工説明書の内容改訂を実施しました。
変更内容を下記しますのでよろしくお願いいたします。

改訂年月： 2009年3月

No.	内容	掲載ページ
1	PA20、PA22、PA30 トラップ変更により全高が10mm高くなる。（PA24除く）	6～7、9、11～12

1. 安全上の注意

●安全のために必ずお守りください。

取り付け工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

この施工説明書では、製品を安全に正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事業者への危害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

表　示	意　　味
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

下に示す表示は施工説明書や製品に表示して、工事業者の方に安全に正しく製品を取り付けていただくためのものです。内容をよく理解して正しく取り付けてください。

表　示	意　　味
⃠	行ってはいけない「禁止」の内容です。
❗	必ず実行していただく「強制」の内容です。

取り付け工事完了後、器具のがたつきや漏水など安全上の不具合がないことを確かめてください。

製品に同梱されている取扱説明書（保証書付）は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要なものです。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者又は建築工事責任者にお渡しください。なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

⚠ 注意

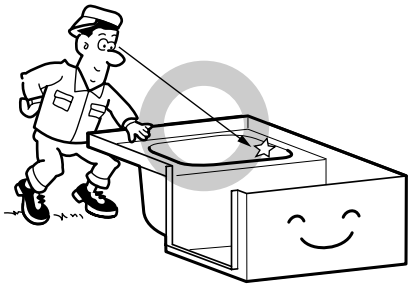
必ず実行

設置は、施工説明書にしたがって確実に行う

工事に不備があると漏水により家財などを汚したり、腐らせるおそれがあります。

必ず実行

製品据付け前に、浴槽・床・取付部品に異常がないことを確認する



禁　止

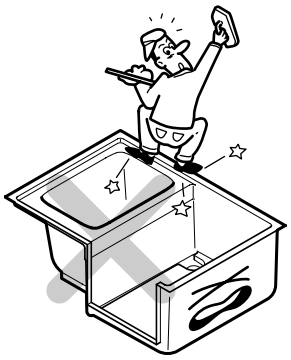
浴槽・床に硬いものを落したり、ぶつけたりしない

製品にひびが入りケガをしたり、または漏水により家財を汚したり腐らせるおそれがあります。

禁　止

浴槽・床・カウンターの上に直接乗って作業をしない

足をすべらせてケガをしたり、製品に傷をつけるおそれがあります。



⚠ 注意

必ず実行

浴槽への穴あけは、穴あけ指定位置で行う

穴あけ指定位置以外に穴あけした場合、漏水により家財を汚したり、腐らせるおそれがあります。

禁　止

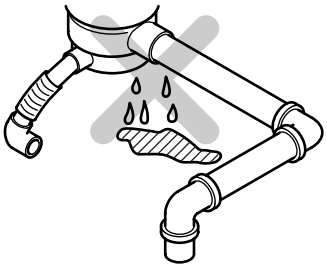
トーチランプの火を当てたり、火のついたタバコを浴槽や床にのせない

破損するおそれがあります。

必ず実行

排水管の取付けは、手順にしたがって確実に行う

工事に不備があると漏水し、家財を汚したり腐らせるおそれがあります。

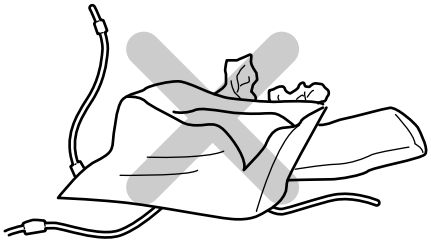


必ず実行

開梱後、不要になった梱包材はすみやかに処分する

木枠・釘・段ボールや締付バンドなどでケガをするおそれがあります。

また、ビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

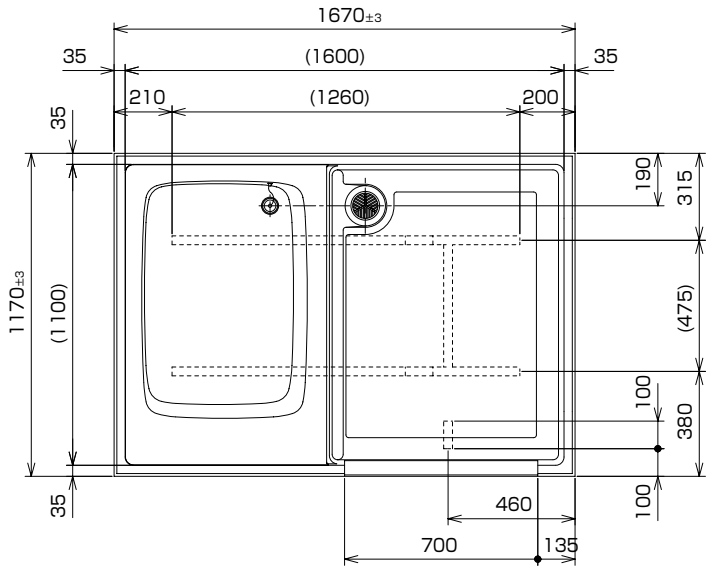


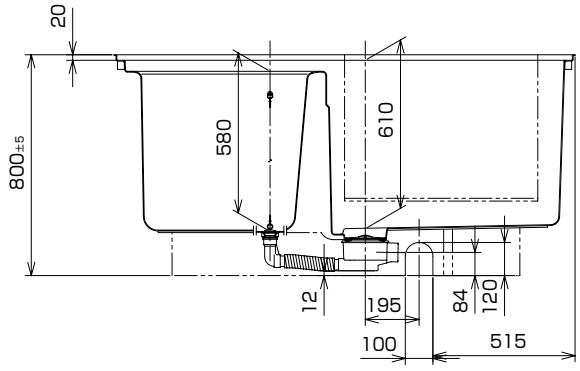
●洗い場付き浴槽を廃棄処分する場合は、許可をうけている処理業者に依頼するか、破砕の上、許可された処理場にて処理してください。

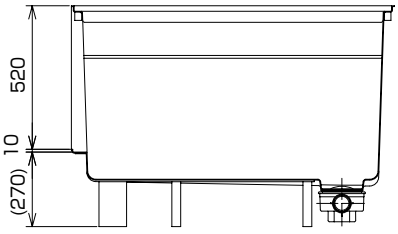
2. 寸法図

2−1 一般図

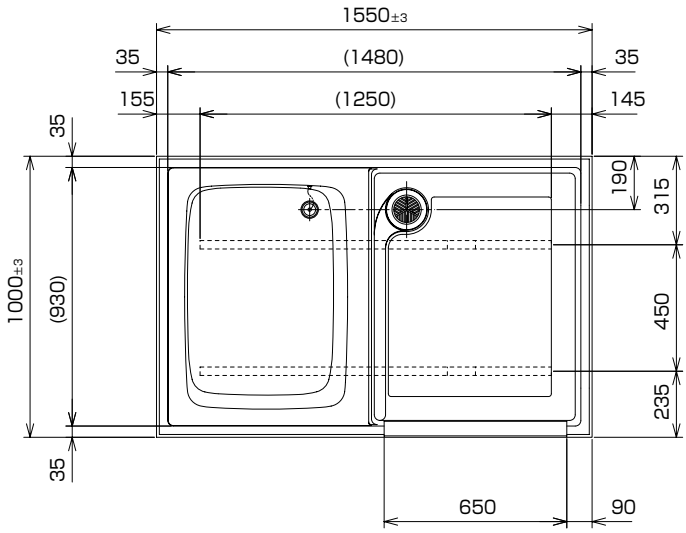
(PA20RLN)

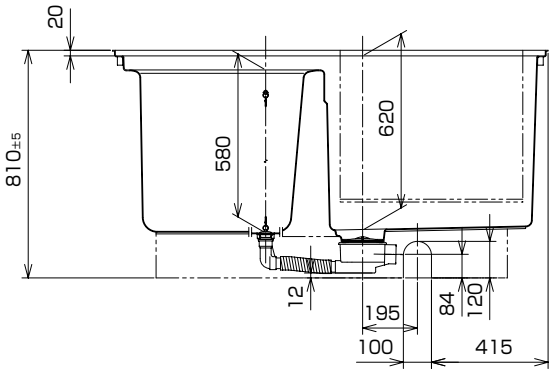


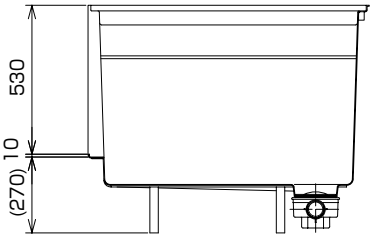




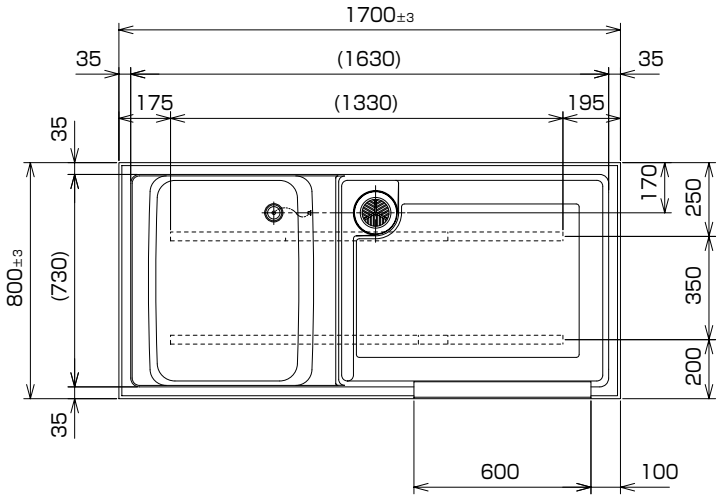
(PA22RLN)

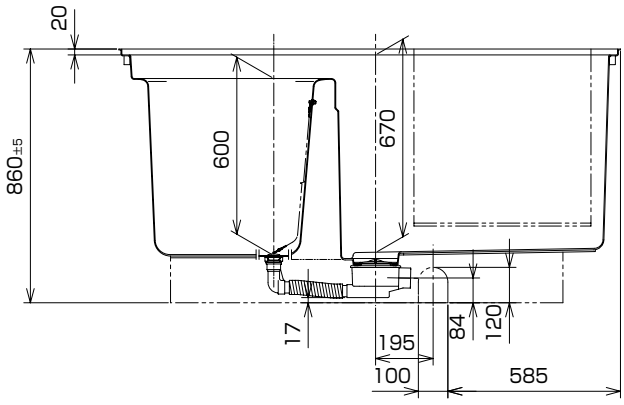

1550±3
35
(1480)
35
155
(1250)
145
35
190
315
1000±3
(930)
450
235
35
650
90

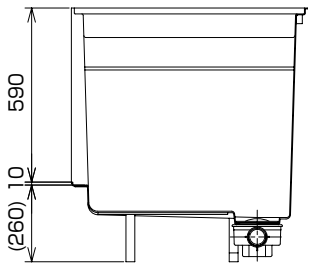

20
810±5
580
620
12
195
84
120
100
415


530
10
(270)

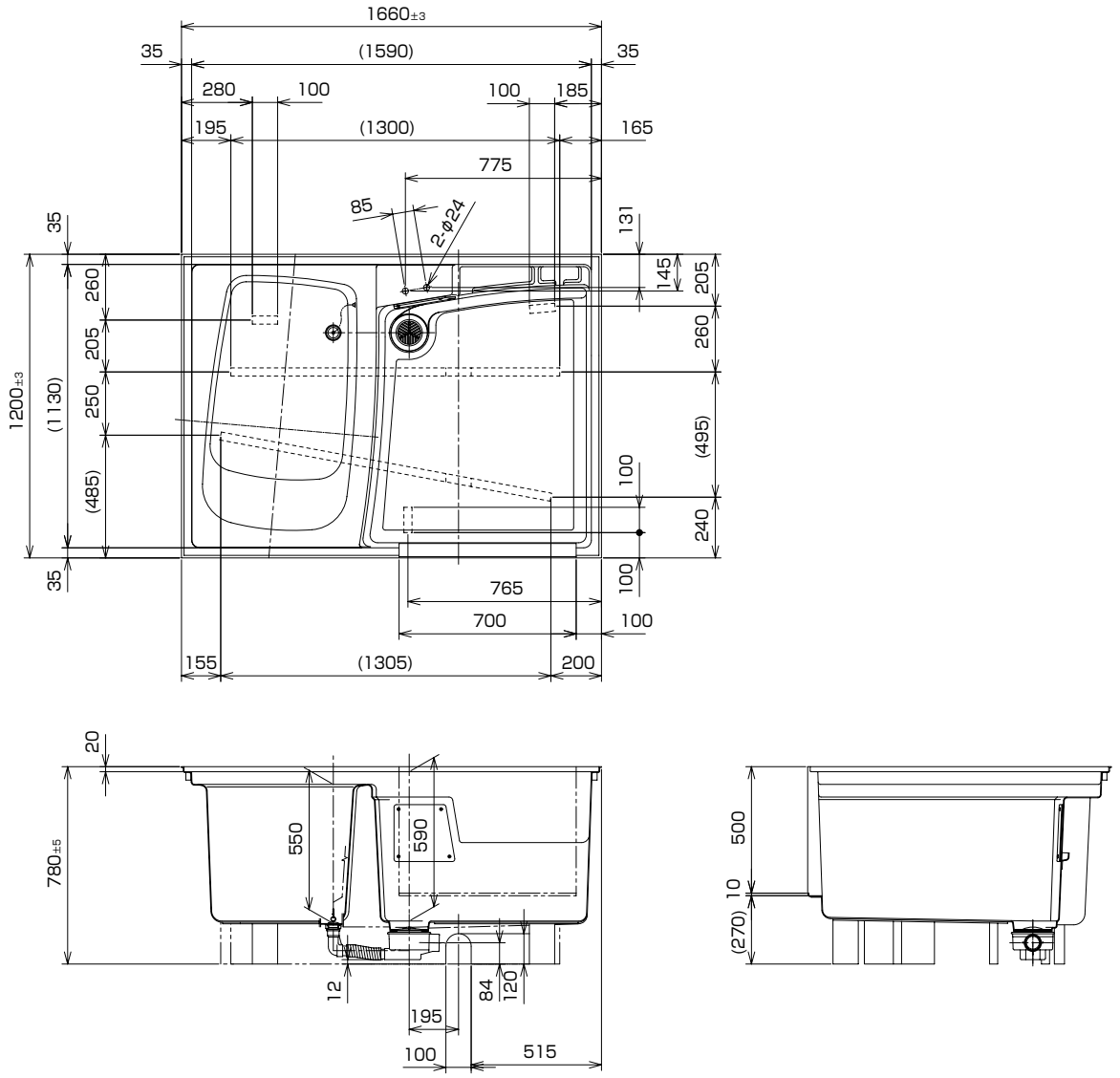
(PA24RLN)


1700±3
35
(1630)
35
175
(1330)
195
35
800±3
(730)
35
170
250
350
200
600
100


20
860±5
600
670
17
195
100
84
120
585


590
10
(260)

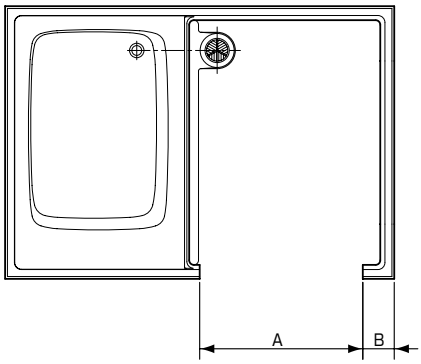
(PA30RLN)



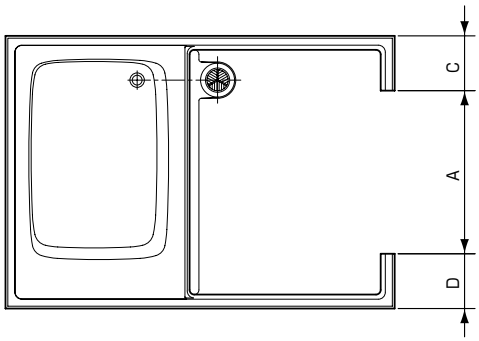
※洗い場付き浴槽の外寸法にクリアランスとして30mm（片側15mm）以上確保してください。

2−2 ドア勝手

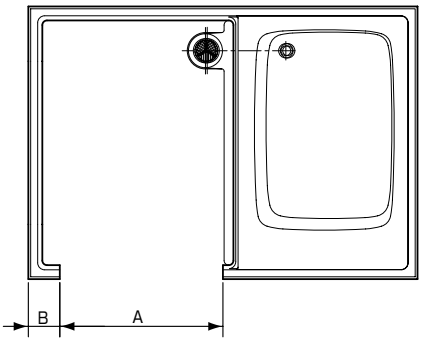
RLN（排水口右・ドア左）



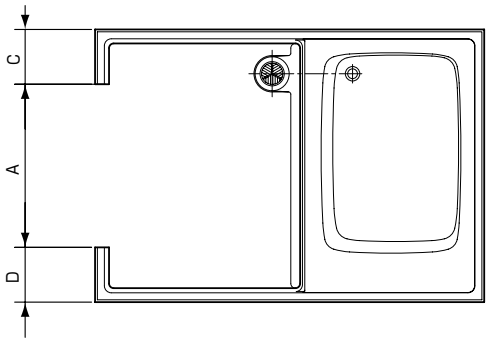
RCN（排水口右・ドア中央）



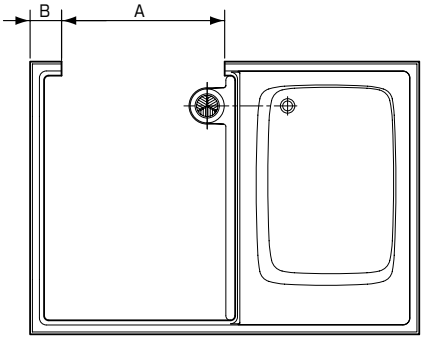
LRN（排水口左・ドア右）



LCN（排水口左・ドア中央）



LLN（排水口左・ドア左）

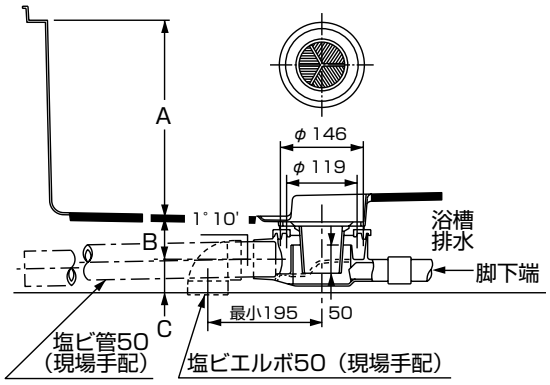


品　番	RLN	RCN	LRN	LCN	LLN	A	B	C	D
PA20	●	●	●	●	−	700	135	235	235
PA22	●	●	●	●	−	650	90	175	175
PA24	●	●	●	●	●	600	100	100	100
PA30	●	●	●	●	−	700	100	400	100

2−3 各部取合

（1）トラップ廻り

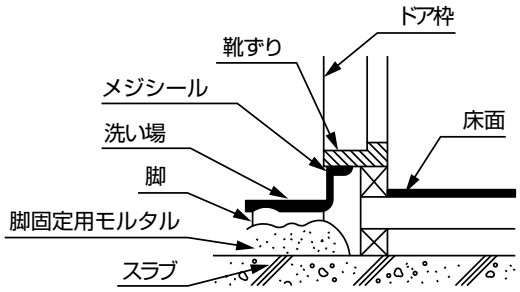
下図の「最小195」は縦引排水の場合の最小寸法です。



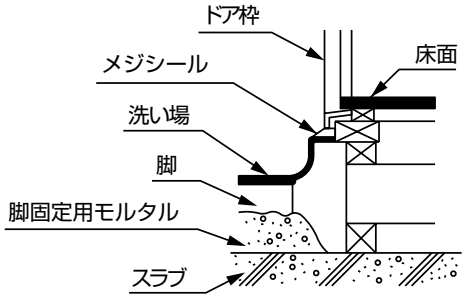
寸法＼品番	PA20	PA22	PA24	PA30
A	610	620	670	590
B	96	96	96	96
C	84	84	84	84

（2）ドア枠靴ずり部詳細

〈木枠の場合〉

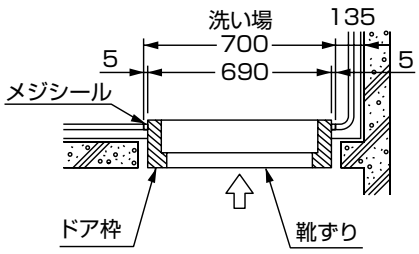


〈アルミサッシの場合〉

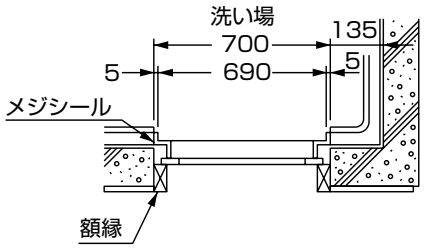


（3）出入り口部詳細（寸法はPA20の場合）

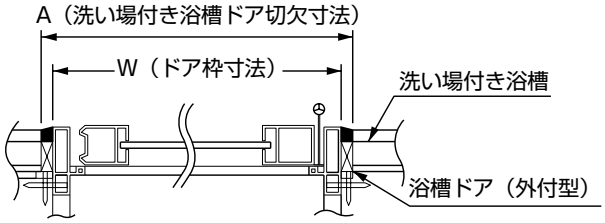
〈木枠の場合〉



〈アルミサッシの場合〉



（4）アルミサッシの選定

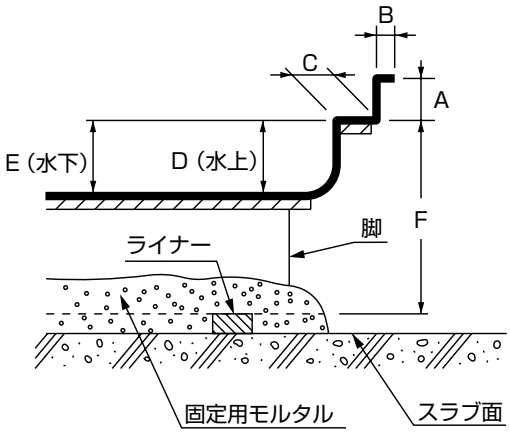


アルミサッシの品揃えはしておりませんので、ドアメーカー及びサッシメーカーよりご購入ください。

寸法＼品番	PA24	PA22	PA20	PA30
A	600	650	700	
W	560～590	610～640	660～690	

（5）靴ずり部詳細

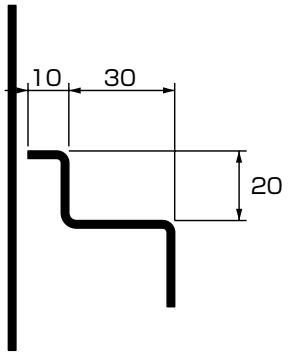
〈靴ずり部詳細〉



品番＼寸法	A	B	C	D	E	F
PA20	10	5	51	85	100	270
PA22	10	5	50	85	100	270
PA24	10	5	52	75	90	260
PA30	10	5	52	85	100	270

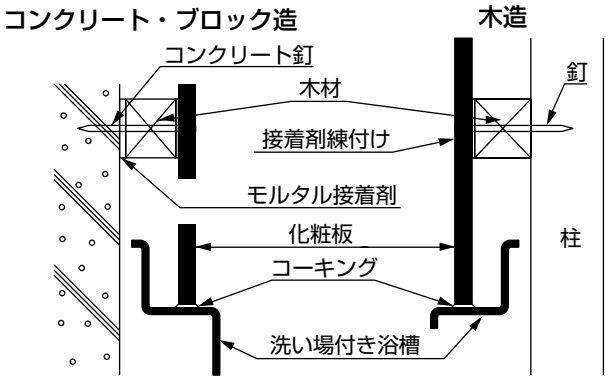
注：レベル調整は脚下にライナーを入れて調整してください。
（ライナーは現場手配となります。）
：脚の全周をモルタルで固定してください。

〈防水リム部詳細〉

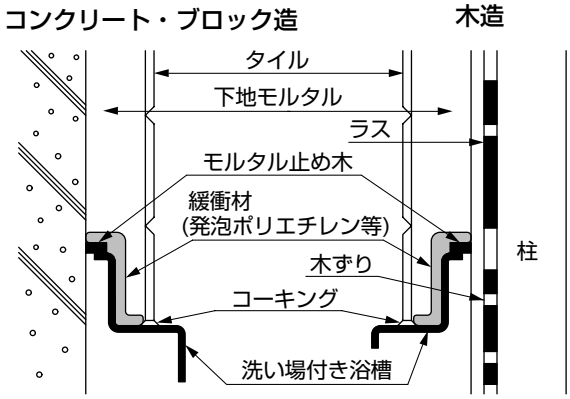


（6）壁との取合い

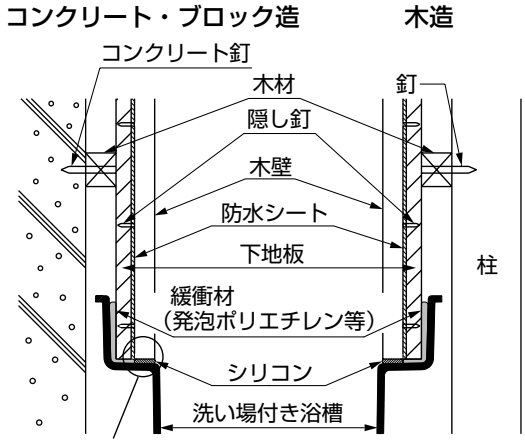
①化粧板仕上げの場合



②タイル仕上げの場合



③ひのきなど木壁の場合



⚠ 注意

洗い場付き浴槽に硬いものを落としたりぶつけたりしない

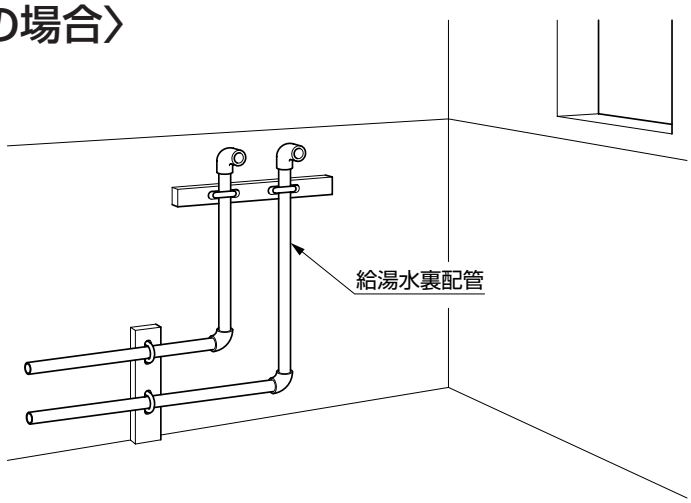
ひびが入りけがをしたり、漏水のため家財に損害を与えるおそれがあります。

3. 施工手順

3−1 下地づくり・給湯水裏配管取付け工事

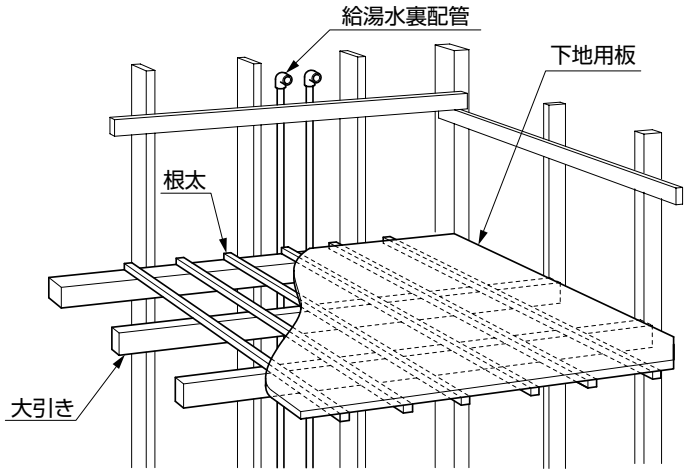
〈コンクリート、ブロック造りの場合〉

（1）据付床面の凹凸がひどいときは、ならしモルタルを打ってください。
（2）給湯水裏配管をセットします。



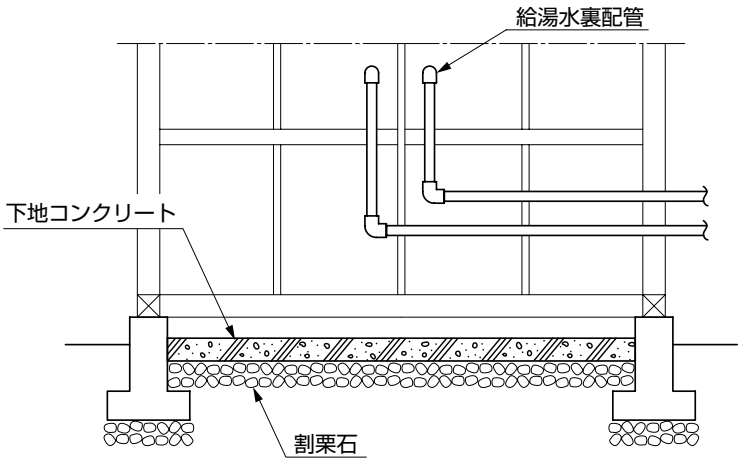
〈木造２階設置の場合〉

（1）洗い場付き浴槽の脚がかかるように根太組みをします。
（根太の寸法構造は洗い場付き浴槽の総重量、浴者の体重、湯量に合わせた重量に十分耐える構造としてください。）
（2）根太の上に下地用板張りをしてください。排水を縦引きとする場合はあらかじめ配管用の穴をあけておいてください。

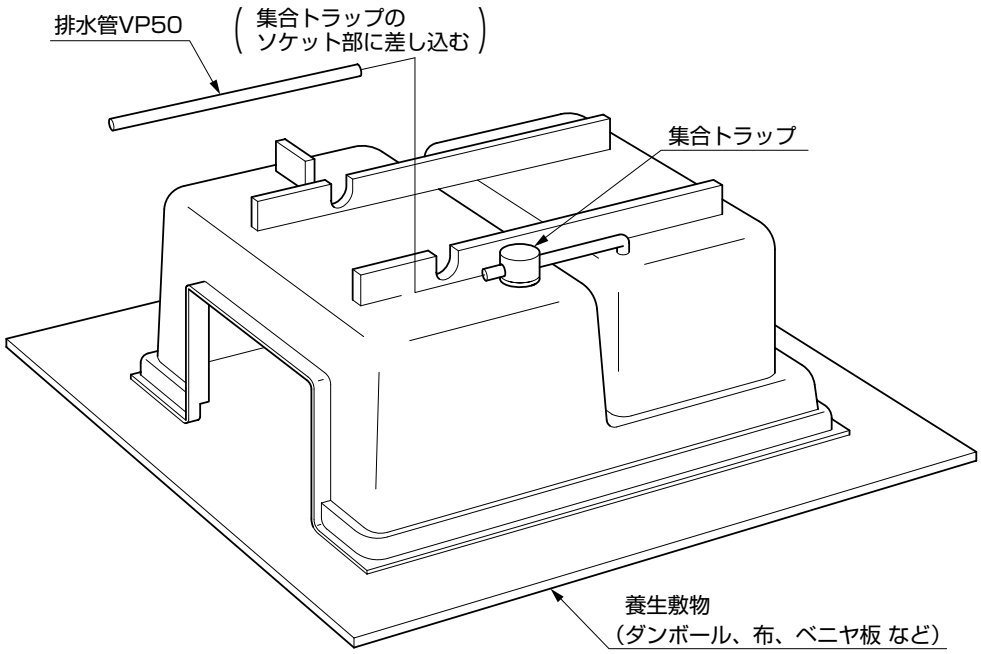


〈土間設置の場合〉

（1）割栗石突き固め（厚み約100m/m以上）
（2）下地コンクリート打ち
（厚み約100m/m以上）
（注）下地コンクリートのならしが悪い場合はならしモルタルを打ってください。



3−2 洗い場付き浴槽・排水管取付け



あらかじめ打ち合わせした排水方向に排水管を接続します。

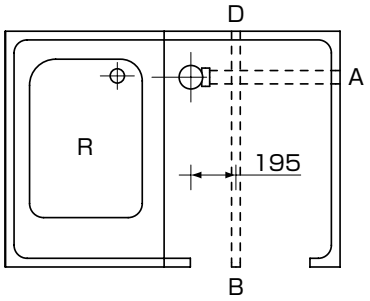
排水管の接続方法

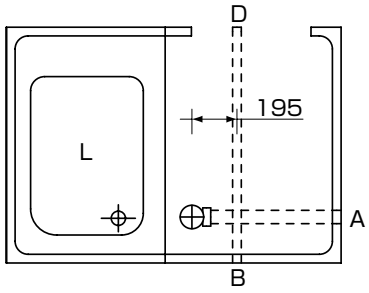
（1）洗い場付き浴槽をひっくりかえします。（必ずダンボール、ベニヤ板などの敷物をしてください。）

（2）排水管は塩ビ（VP50）を使用し取り出す方向に合わせた寸法に切断加工します。

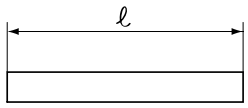
（3）排水管の先端に塩ビ用接着剤を塗り、集合トラップのソケットに差し込んで接続してください。
接着剤は一般に市販されている塩ビ用接着剤（エスロン）の高粘度速乾性のものを使用してください。

（4）洗い場付き浴槽の型式（左右の勝手、出入口、排水方向）は建築図・設備図より決定してください。
（排水管はあらかじめ加工しておくと便利です。寸法は次ページ 図・表を参考にしてください。）

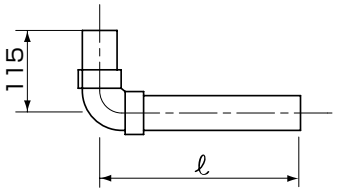




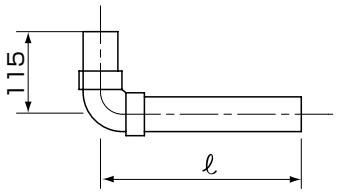
1．A方向の場合



2．RタイプのB方向、
　LタイプのD方向の場合



3．RタイプのD方向、
　LタイプのB方向の場合

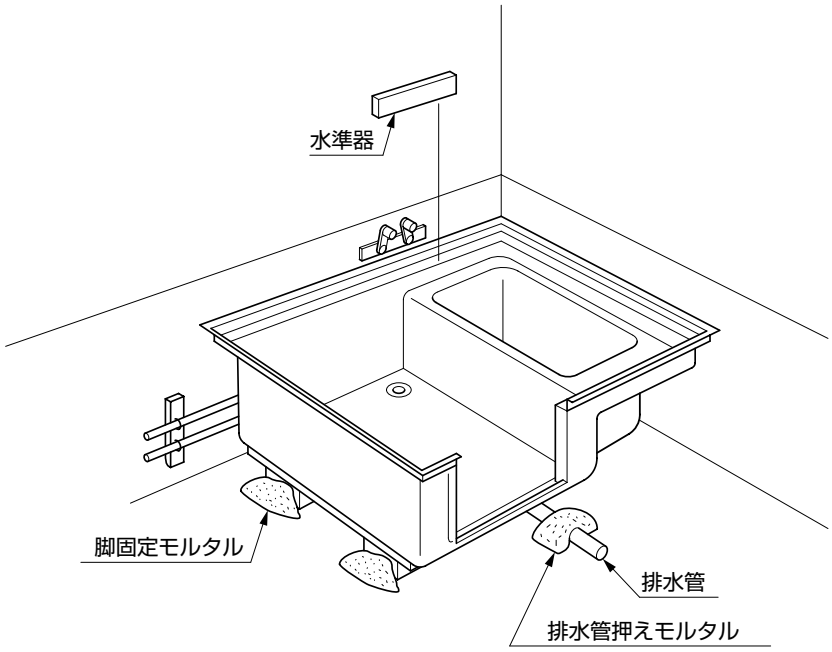


（下表は上図排水管の ℓ 寸法を示します。ただし、洗い場付き浴槽外面までの寸法です。）

品番 / 排水方向	PA20	PA22	PA24	PA30
A方向	680	580	750	680
RタイプのB方向 LタイプのD方向	980	810	630	890
RタイプのD方向 LタイプのB方向	190	190	170	310

縦引き排水の場合は集合トラップ中心より195m/m偏心してエルボ返しをしてください。

3−3 洗い場付き浴槽据付

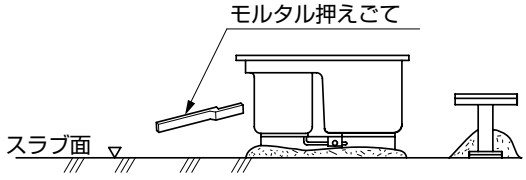


（1）据付作業

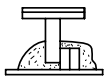
洗い場付き浴槽の壁納まり部との寸法を確保してください。
ブロック・ライナーなどを浴槽の脚下に入れ、洗い場付き浴槽の水平を出してください。
（洗い場付き浴槽の壁納まり面で水平がとれれば浴槽・洗い場とも水勾配がとれるようになっています。）

（2）脚固定作業

レベル出しが終わった後、洗い場付き浴槽の脚部にモルタルを打ちます。モルタルは脚部に十分打ってください。少なかったり隙間があると床がたわんだり、きしむ音がする原因となります。



（木造2階の場合）



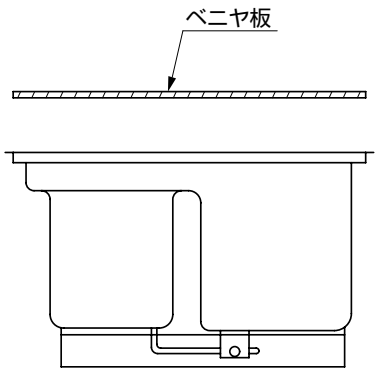
木片を釘打ちし脚を
固定する。

（注）1　手が届かない箇所は据付前にあらかじめダンゴ状にモルタルを打っておき、上図のようなモルタル押え用のコテを利用して脚を固定してください。
2　据付後モルタルが固まるまで（約１日）は荷重をかけたり人が乗ったりしないでください。
3　木造２階の場合は床と洗い場付き浴槽の脚が動かぬように木片などで固定し、モルタルを打ってください。

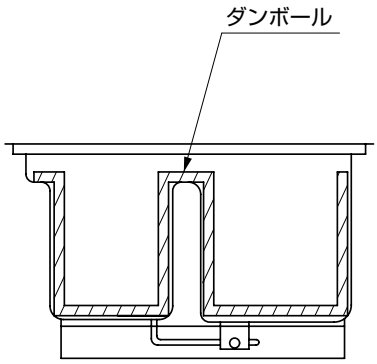
3−4 洗い場付き浴槽・防傷用養生作業

洗い場付き浴槽の据付けが完了した後の工事は、洗い場付き浴槽の中へ入ることが多くなります。特にタイル工事のさいの廃材、間仕切りのさいの溶接の火花などに対処するため、必ず工事完了まで洗い場付き浴槽の表面はベニヤ板、またはダンボールなどで養生してください。

〈溶接工事の場合〉



〈タイル工事の場合〉

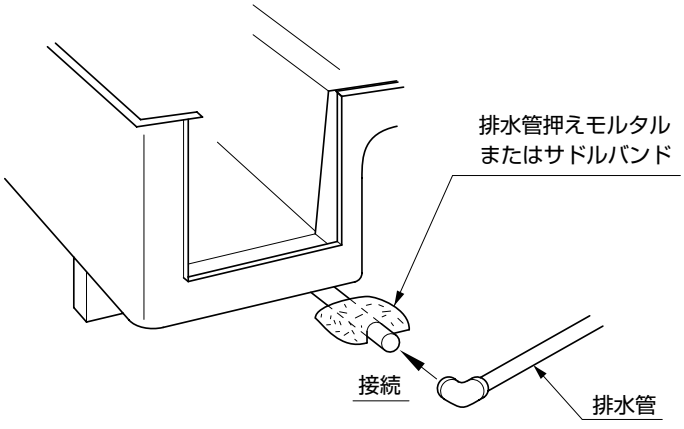


（注）残材や廃材は工事完了後、直ちに取り除いてください。

3−5 排水管接続作業

洗い場付き浴槽の排水取り出し管と排水管とを、継手を用いて配管接続します。

（接続時の注意）
洗い場付き浴槽の排水取り出し管をいたずらに動かしたり足を引っかけたりすると、トラップの締付部より漏水する原因となりますので、必ず排水管を押えモルタルまたはサドルバンドなどで固定してください。



3－6 浴槽の穴あけ

⚠ 注意

必ず実行

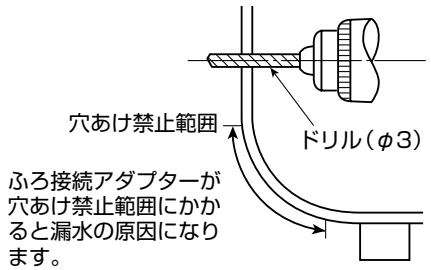
浴槽への穴あけは、穴あけ中心部許容範囲内で行う

穴あけ中心部許容範囲外に穴あけした場合、漏水により家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。

施工のポイント

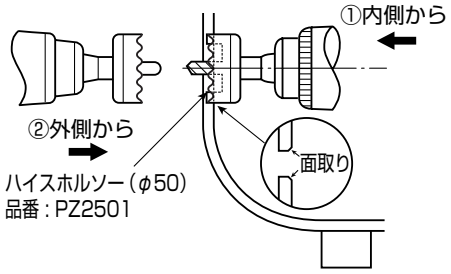
●穴あけ後は、穴のエッジ部の面取りをしてください。

①



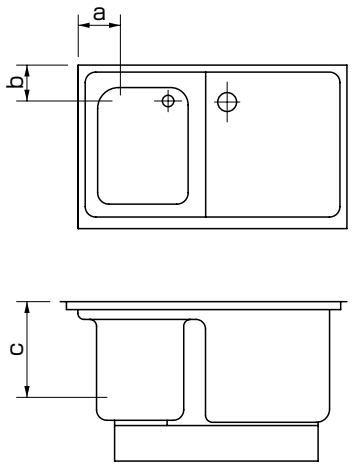
穴あけ位置にφ３のドリルで浴槽内側からセンター穴をあけてください。

②



センター穴をガイドにしてφ50のハイスホルソーで浴槽内側から半分位置穴あけし、次に浴槽外側より貫通穴をゆっくりあけてください。

・ドリルは400rpm以下でご使用ください。
・穴あけ周囲は、紙やすりなどでC1～C2程度面を取ってください。



寸法 / 品番	a	b	c
PA20	230～530	235～790	535以内
PA22	230～510	325～735	540以内
PA24	235～500	160～640	595以内
PA30	330～560	220～710	510以内 ※300～500以内

※寸法は長辺側を示します。

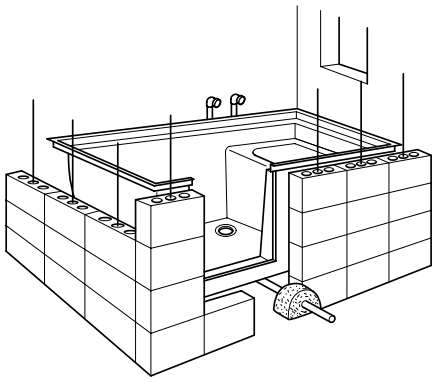
4. その他 施工情報

4−1 シャワー金具取付け（PA30の場合）

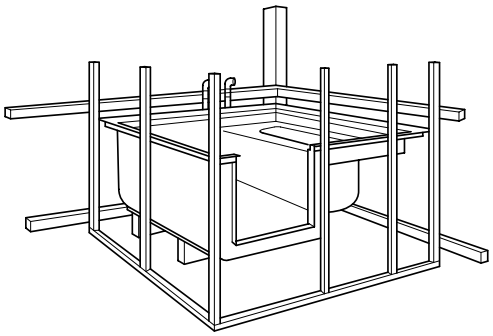
● シャワー金具取付けは、シャワー金具の施工説明書にしたがってください。

4−2 間仕切り壁の施工例

〈ブロック間仕切りの場合〉

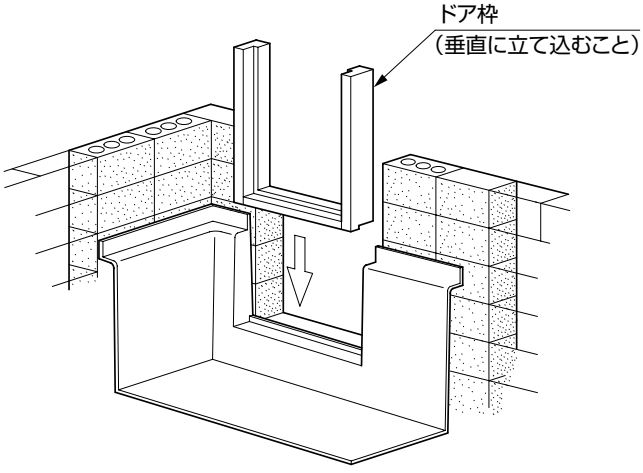


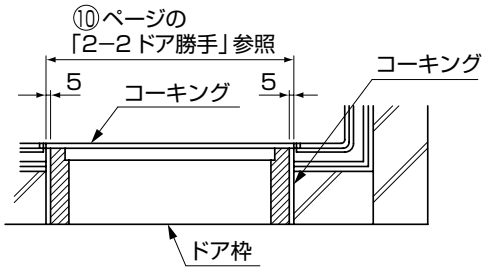
〈木造間仕切りの場合〉

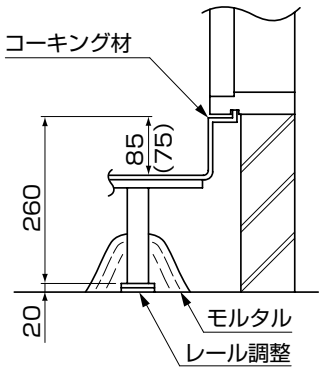


4−3 ドア枠取付けの施工例

● ドアメーカー同梱の説明書にしたがってください。





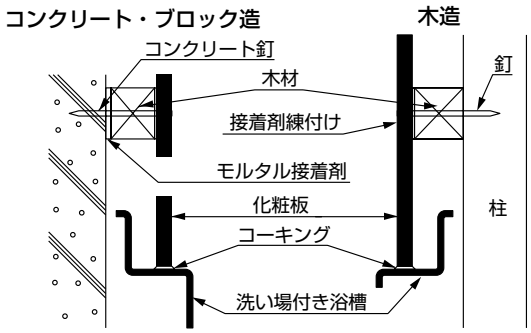


（ ）寸法はPA24です。

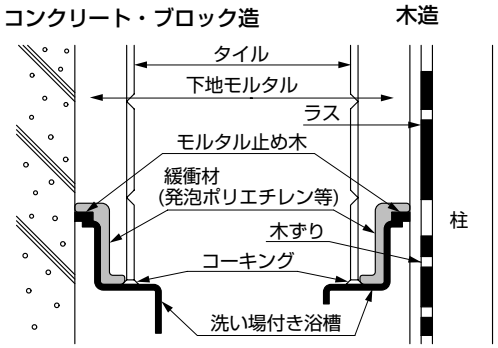
4−4 壁仕上げの施工例

● 壁材との取り合いは下図を参考にしてください。

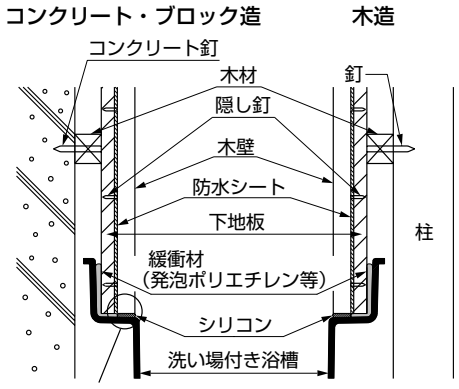
①化粧板仕上げの場合



②タイル仕上げの場合

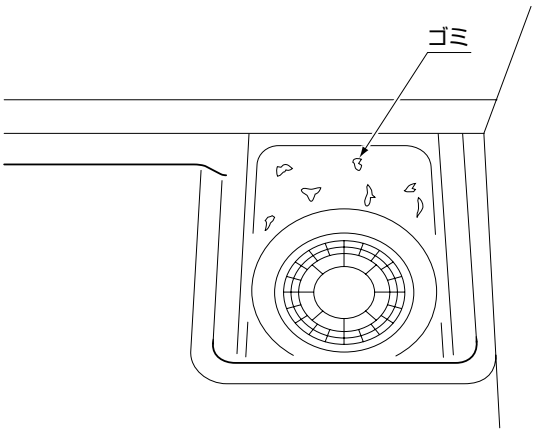


③ひのきなど木壁の場合



5. 清掃

全ての施工が完了しましたら、念入りに清掃してください。
また、排水トラップの内側にはゴミがたまりやすいことから念入に清掃してください。
（金属粉が残留していると、もらいさびの発生等、トラブルの原因となります。）



※清掃用洗剤について
汚れはやわらかい布またはスポンジに市販の中性洗剤をつけて洗い落とし、
がんこな汚れはアルコールで拭き取ります。

清掃の際に、次のものは使わないでください。（人体に影響が出たり、本体
に不具合が生じるおそれがあります。）
- 「酸性」「アルカリ性」の表示の洗剤
- 薬品（塩酸）
- シンナー・アセトンなどの溶剤
- みがき粉
- ナイロンたわし
- 金属たわし
- サンドペーパー 等